



体験談を発表する児童

関係者へ記念品を贈呈

『ひだかうまキッズ探検隊2021』の修了式が3月28日に役場静内庁舎で行われ、当日参加した隊員の児童17人に大野町長から修了証が手渡されました。

探検隊は年10回のプログラムにより、馬に携わるさまざまな活動を通じて馬産地の歴史や産業、文化などを学びました。児童らは、「菊花賞馬のタイトルホルダー号に会うことができた」「競馬場で勝つ馬を予想して応援することが楽しかった」など、一人ずつ思い出に残った体験を話し、最後に協力いただいた関係者の方へ感謝の気持ちを込めて記念品を手渡しました。

思い出に残った体験を発表 うまキッズ探検隊修了式

NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

障がい者への支援などを考える 地域福祉セミナー

NPO法人静内耕生舎(竹田雄三代表理事)と新ひだか町手をつなぐ育成会(扇尋子代表)の共催による『地域福祉セミナー「地域で安心して暮らせるために」』が3月18日に公民館で開催され、オンラインなどにより道内20か所から約90人が参加しました。

セミナーでは、コロナ禍における障がい者の厳しい現状や障がい者の権利擁護のほか、虐待防止などの講演が行われ、参加者は障がい者に寄り沿った支援のあり方などについて理解を深めました。



前列左から小池さん、北村日高振興局長、片岡さん、浦東さん

地域農業の発展などに期待 3人が北海道指導農業士に認定

日高振興局主催の『北海道日高管内指導農業士称号贈呈式』が3月22日に日高合同庁舎で開催され、管内の農業経営者に北村日高振興局長から認定証が手渡されました。

この称号は、高い栽培・飼養技術などを持つ経営者のうち、地域の農業振興や人材育成で中心的な役割を担う方に贈られ、今回、当町から新たに小池孝義さん(静内目名)、片岡博さん(東静内)、浦東朝和さん(三石西端)の3人が認定されました。

今後、後身農業者への指導や地域農業の発展への貢献が期待されます。



人命救助などに活躍する 消防ポンプ自動車納入

日高中部消防組合消防署は、総務省消防庁から救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸与を受け、4月1日に静内消防団第1分団へ配備しました。

このポンプ車は、消火活動に使用するポンプのほか、事故車の車体を切断できるエンジンカッターやチェーンソーなどの救助用資機材、救急資機材、照明・通信資機材など最新設備を搭載し、災害時や救急時の人命救助などの活躍が期待されます。

大野町長は、「災害現場で力を発揮することに期待します」と話しました。



パンサラッサ号 ドバイターフ制覇

『第26回ドバイターフ(海外GI・芝1800)』が3月26日にアラブ首長国連邦ドバイのメイトン競馬場で開かれ、木村秀則牧場(木村秀則代表・静内駒場)の生産馬、パンサラッサ号が見事優勝を果たしました。

レースでは、同馬が終始先頭で集団を率い、ゴール前で3頭が横一線に並び大接戦を制し、英国馬ロードノース号と1着同着で栄冠を手に入れました。

木村代表は「よく走ってくれた。小さな牧場でもGIが取れるとほかの牧場の励みになると思う。今後も期待したい」と話しました。

創立100周年事業として 日高信用金庫が清掃活動を実施

日高信用金庫(大沼孝司理事長)主催の『クリーンアップデー』が4月9日に全店一斉に実施されました。

昨年4月に創立100周年の節目を迎えた同金庫は、周年事業の最終事業として営業エリア内の清掃活動に取り組みました。

三石地区で行われた活動では、三石支店の職員などにより、三石海浜公園周辺や蓬萊山から国道までの区間の2か所で、雪解けとともに目立つようになった道路脇の枯れ枝などのごみを拾い集め、地域の環境美化に汗を流しました。

